

研究協力のお願い

昭和医科大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

異所性妊娠、頸管妊娠、帝王切開瘢痕部妊娠、流産の経過中及び処置中の異常出血の予測と治療方法についての検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2018年1月1日から2030年1月30日までに昭和医科大学病院で管理した異所性妊娠、頸管妊娠、帝王切開瘢痕部妊娠、流産の患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

【目的】異所性妊娠、頸管妊娠、帝王切開瘢痕部妊娠、流産の方の患者背景、妊娠経過、採血結果、MRIや超音波検査などの画像所見をもとに、経過中及び処置中の異常出血の予測と治療方法の有用性および合併症の評価を行うことを目的としています。

【方法】

2018年1月から2030年1月までに昭和医科大学病院で管理した異所性妊娠、頸管妊娠、帝王切開瘢痕部妊娠、流産の患者さんを対象として、経過中及び処置中の異常出血と治療方法の有効性及び合併症に関して、外来・入院中のデータを後方視的に比較・検討します。

分析に関しては、JMPという統計ソフトを用いてデータ解析を実施いたします。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2030年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、妊娠回数、妊娠方法、身長、体重、合併症、妊娠中の体重増加、子宮手術既往、胎盤位置、筋腫位置と数、腺筋症、妊娠中の出血有無、超音波画像、MRI画像、採血結果、分娩週数、治療方法、処置時出血量、要した止血処置、処置後出血、輸血の有無を調査項目といたします。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 医学部産婦人科学講座 医師・講師 新垣達也

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和医科大学医学部産婦人科学講座 氏名： 新垣達也

住所： 東京都品川区旗の台 1-3-8 電話番号： 03-3784-8551